

令和6年10月1日
北海道ミライづくりフォーラム2024
DX予算・施策合同説明会

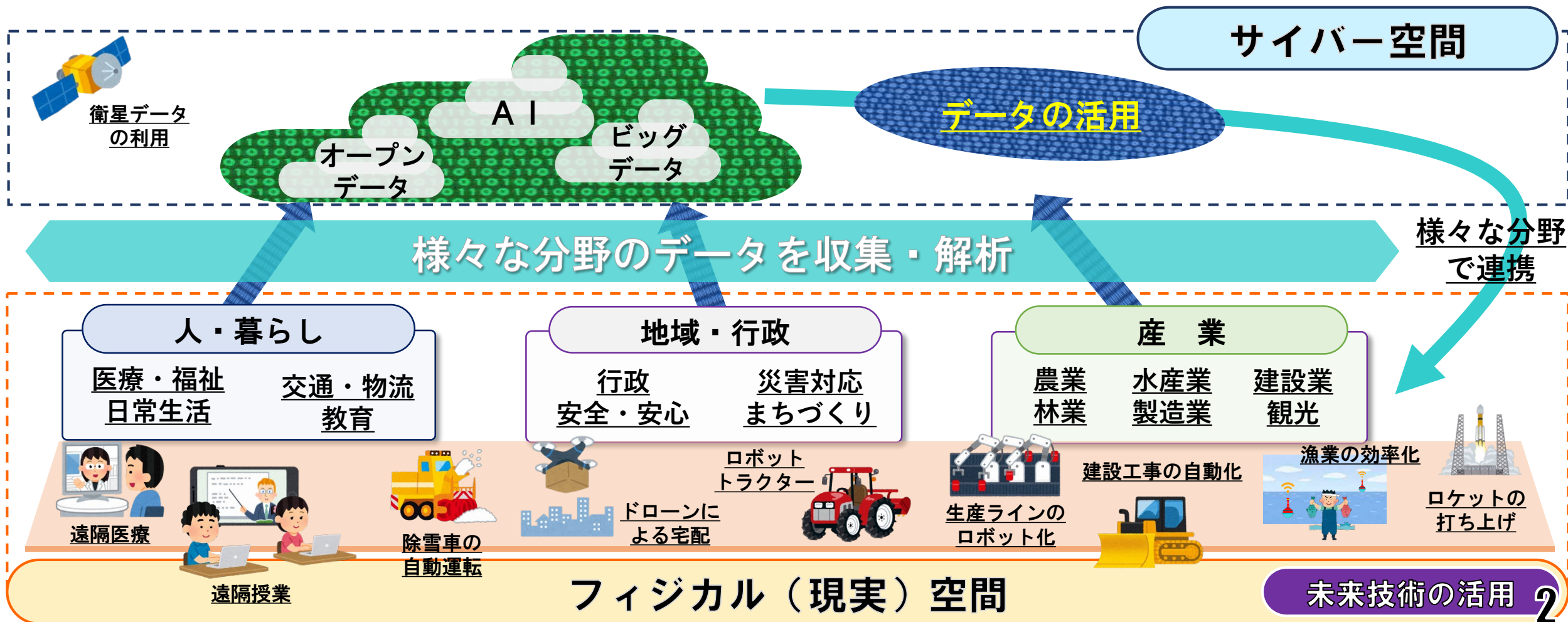
「北海道Society5.0」の実現に向けた取組について



北海道 総合政策部 次世代社会戦略局
デジタルトランスフォーメーション推進課

1 「北海道Society5.0」とは

人口減少や少子高齢化など様々な課題を抱える北海道が、ICTやAI、ロボットなどの未来技術を活用して、直面する課題を解決するとともに、そこから得られるデータ（ビッグデータ）を活用して道民生活の一層の向上や新サービスの創出などに繋げていくことで実現する「**北海道の未来社会**」（概ね10年後の2030年頃を想定）。



2 「北海道Society5.0推進計画」（令和3年3月策定）

「北海道Society5.0推進計画」

概ね10年後（2030年頃）の「北海道の未来社会」である「北海道Society5.0」の実現に向け、その中間である2025年までに取り組むアクションプラン。

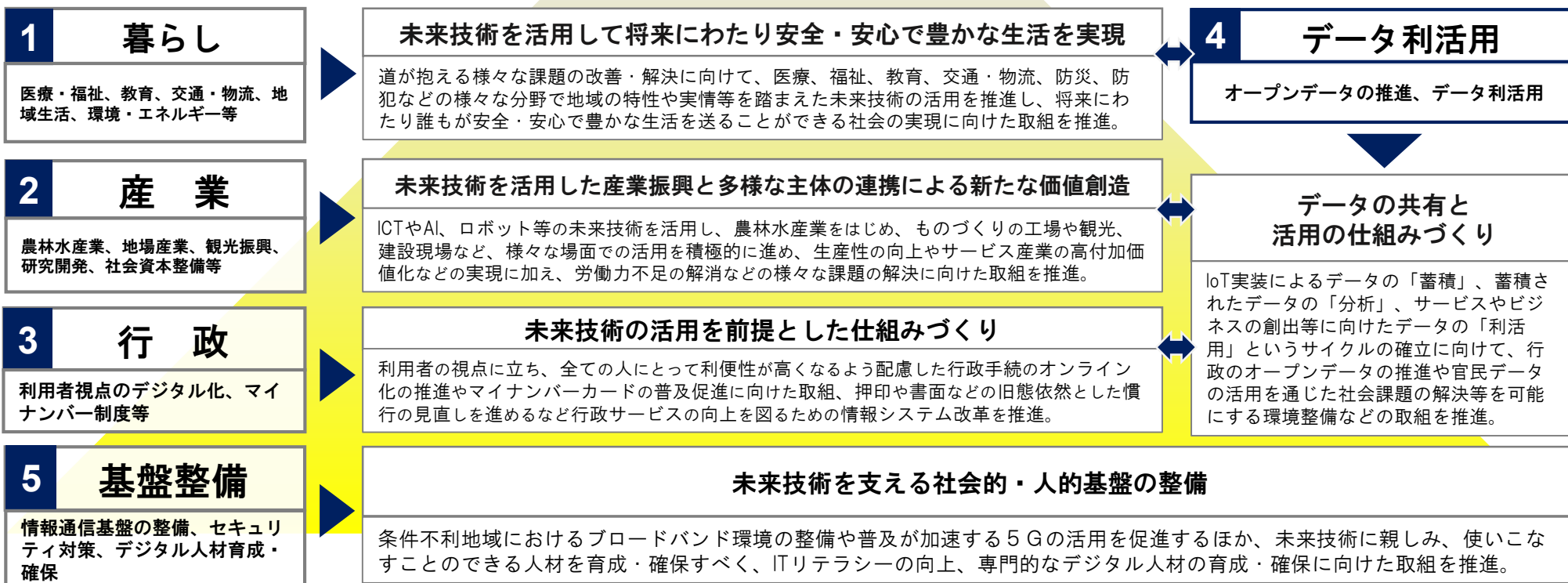
基本理念

『未来技術を活用した活力にあふれる北海道』の実現

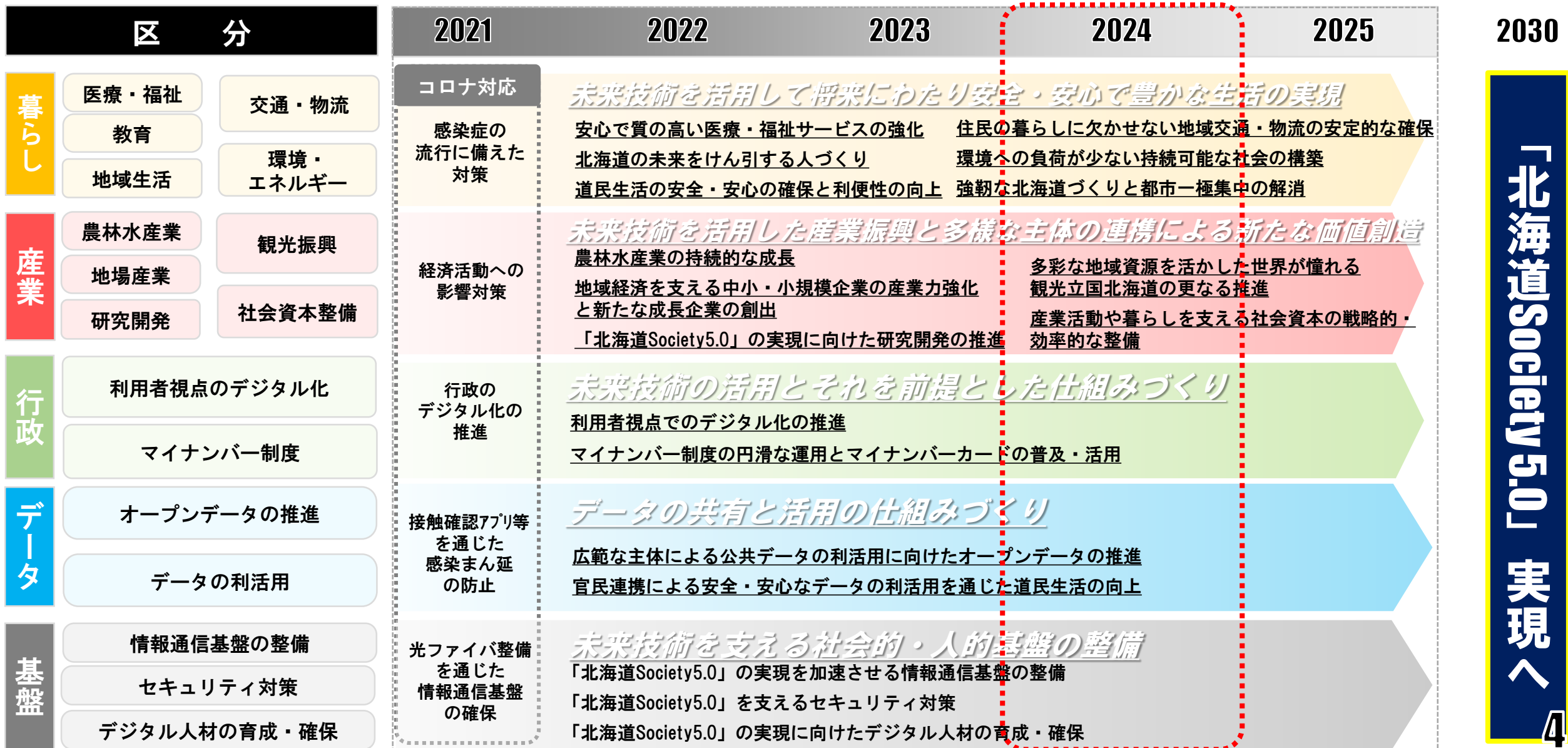
計画期間

2021（令和3）年度～2025（令和7）年度

取組方針



3 施策の展開について（ロードマップ）



4 令和6年度「北海道Society5.0」関連事業

令和6年度「北海道Society5.0」関連事業について、予算総額は「4,447,316千円」（R5予算：3,920,762千円）となっており、昨年度比「113%」となっている。計画区分に基づく事業は以下のとおり。

< 予算額 >

暮らし

道民生活の安全・安心を確保するために必要となる介護分野や鳥獣害対策、新エネルギーの導入促進、ICTを活用した教育の促進などに取り組む。

2,502,753千円

産業

本道の基幹産業である農林水産業を始め、ものづくり・サービス産業などでの未来技術の活用による産業の高付加価値化や人材の確保などに取り組む。

1,880,650千円

行政

自治体業務の効率化・最適化に向け、道内自治体のデジタル化に向けた取組の支援やICTツール導入による道庁内の業務の効率化、人材育成などに取り組む。

62,563千円

データ

データ利活用の好循環を生み出すため、取得した各種データを分析しスムーズな共有を図るために必要となる取組を推進する。

1,350千円

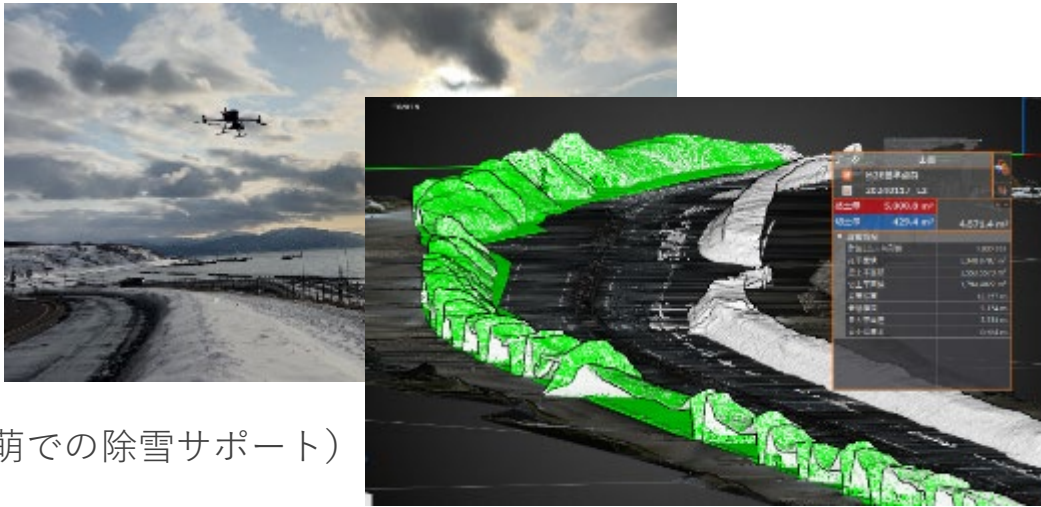
※事業の概要は次ページ以降に掲載。

5 2023年に北海道庁が行った実証事業



ドローンのマルチユース実証事業

⇒ 1台のドローンを複数の用途で活用する
マルチユースの検討



(留萌での除雪サポート)

<検討したユースケース>

- ①林業×除雪、②農業×融雪、③塗装×除雪、
- ④物流×フレンチ、⑤農業×外壁線上、
- ⑥橋梁点検×法面計測、⑦密漁監視×漁業、
- ⑧ヒグマ対策×遭難救助、⑨防犯×観光、
- ⑩精密農業×不法投棄、⑪測量×風力点検、
- ⑫空撮×災害対策



観光分野におけるドローン活用実証事業

⇒北海道らしい新たな観光分野での活用策

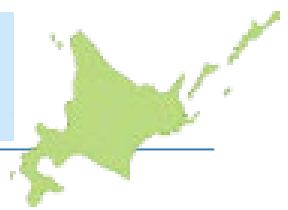


(美唄スキー場での
追従撮影)

<検討したユースケース>

- ①アウトドア活動の追従撮影
- ②クルーズ船の撮影サービス
- ③ドローンによるマラソン応援
- ④教育旅行等でのドローン体験
- ⑤キャンプ場での運搬サービス
- ⑥バーチャルトラベル
- ⑦ドローン資格取得合宿
- ⑧ドローンサッカー

6 2024年に北海道庁が行う実証事業



災害時におけるドローン活用実証事業

- 能登半島地震もあり、ドローンは災害時の有用なツールとして注目を集めている一方で、実際に運用体制を整えられている市町村は少ない。
- ドローンの災害時の活用方法や手続きについて調査・整理するとともに、平時に活用されているドローンを災害時に有効に活用できるよう実証を行い、ハンドブックとして整理



(写真：https://www.acsl.co.jp/admin/wp-content/uploads/2024/02/20240208_press-release_
令和6年能登半島地震におけるドローン関連5社の初期災害時支援活動について.pdf)



追加検討

平時に活用されているドローンを災害時にも活用することで、導入コストや運用体制をカバーできないか。

- 例えば、
- ・ 市町村業務で使っているドローンについて、災害時の被災状況確認にも使えるよう整理
 - ・ 物流課題解決のためにドローンを導入する際に、災害時の孤立地域への物資輸送の役割も想定

7 地域づくり総合交付金（地域づくり推進事業）



デジタルチャレンジ推進事業

市町村と民間企業のマッチング

課題を抱える市町村

農林
水産

観光
交通

生活
福祉

デジタル技術の提供

AI・IoT等を活用し
地域課題の解決する実証

フィールドの提供

民間企業

内 容

- 地域課題の解決を目的として、AIやIoT等のデジタル技術を活用し、**新規性のある実証**を行うものに対して交付。
- 事業で作成、取得したデータ、報告書等をオープンデータとして広く公開し、新たな活用事例の提案や費用対効果の検証を交付事業者が行う。

事業対象

道内市町村と民間企業によるコンソーシアム

補助率等

交付率 1/2（上限：1,000万円、下限：100万円）

実証成果をオープンデータ化

国の補助事業等を活用
～デジタル田園都市国家構想交付金～

全道へ横展開
～市町村の実装へ～



【農業】ドローンの活用



【交通】自動運転バス



8 ほっかいどうDX促進事業



「未来技術」で地域課題を解決！

市町村
課題

×

事業者
技術

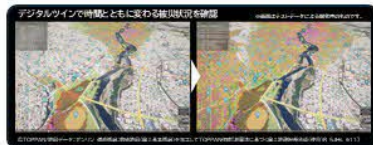


Use Case

都市の3Dデジタルツインモデルを活用した自治体防災のDX

実在する都市の3Dマップと災害シミュレーションデータを組み合わせ、津波や浸水等の災害発生から時間軸での被害状況を可視化する技術

→道南エリアで住民や観光客避難誘導や医療連携で検討がスタート



Schedule

- 2024.6 未来技術に関する情報配信開始(メール&Webマガジン)
- 2024.8 「地域課題×未来技術」マッチング事例発表会
- 2024.10 マッチングイベント「UPDATE179」、「共創ワークショップ」開催
(第3回ドローンサミット/ほっかいどうミライづくりフォーラム2024と連動)
- 2025.3 成果報告会

C O N T E N T S

各種情報・イベントの配信希望の方はコチラ▶



情報配信

- メール&Webマガジン(月1~2回配信)
- 未来技術の詳細レポートのほか、導入を検討中の市町村の声もご紹介します



マッチング事例発表会

開催日：8月22日(木) 15:00~17:00

※オンラインとのハイブリッド開催

会 場：NTT東日本 北海道事業部 社員食堂(札幌市中央区北1条西4丁目2-4)

- これまでのマッチング事例について事業者と市町村からお話を伺います



マッチングイベント

開催日：10月2日(水)

会 場：札幌コンベンションセンター(札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)

「UPDATE179」

- 事業者から市町村職員等へのショートピッチイベントなど



私の町でも
やってみたい！

共創ワークショップ

～事業者と市町村職員等と一緒に課題解決を考えます

- 事業モデル立案型ワークショップ



マッチング等の相談

いつでも受け付けています！▶



主 催：北海道

事業名：ほっかいどうDX促進事業
(受託者：ほっかいどうDX促進事業推進コンソーシアム)

協 力：HOP

E-mail: hokkaido_dx_sokushin-mi@east.ntt.co.jp

「UPDATE179」 北海道179自治体向け地域課題解決型ピッチイベント

北海道
ほっかいどうDX促進事業

北海道庁イチオシ!! 24企業から地域課題解決ピッチ

北海道179自治体向け 地域課題解決型ピッチイベント

UPDATE179

開催日 2024 10/2 WED 第一部 10:00-12:30 第二部 13:30-16:00

開催場所 札幌コンベンションセンター 中ホール(札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)

※オンラインでも参加可能です。オンラインの方は事前にURL発行させて頂くため、2024年9月30日までに事前参加登録をお願い致します。
※本イベントは「北海道ミライづくりフォーラム2024 & 第三回ドローンサミット」の一環として開催します。

POINT.1
事業者から市町村職員の皆様へ、地域課題解決に役立つ「未来技術」の6分間ショートピッチ!!

POINT.2
ピッチを聞いて「興味あり」「興味なし」のいずれかを、その場で回答!!

POINT.3
「興味あり」の回答をした場合、後日、提案者よりコンタクトがあります。詳細についてご質問・ご相談ください。

※会場内に各社ブースも設置しますので、その場でご相談いただくことも可能です。



北海道知事 鈴木 直道

道内自治体職員の皆様へ

本イベントは北海道内179自治体の皆さまに向けて、地域特有の課題に対するデジタル技術の有効活用や新たな解決策を総勢24の企業から提案をいただく場として設けています。
これにより、自治体が抱える課題解決の糸口を見つけ、具体的な活用方法を検討いただき、北海道の未来社会をともに創造していく契機としたいと考えております。ぜひ多くの自治体職員の皆様にご参加いただけますよう、心よりお待ちしております。

UPDATE179 第一部 10:00~12:30

社名(登壇順)	分野	事業概要
オーシャンソリューションテクノロジー	水産	衛星リモートセンシングによる貝毒の発生予測技術
インブル	環境・脱炭素	燃料使用量抑制に資する暖房管理アプリによる脱炭素の推進
PLEN Robotics	介護・医療	AIデータの分析による潜在的な心身不調の兆候を可視化
MBTリンク	医療・健康	電力消費データによる生活スタイル検知技術を活用した見守り
Ridge-i	林業・環境	森林管理・不法投棄検知に資するマルチモーダルAIソリューション
JOYCLE	環境	ごみを運ばず・燃やさず・資源化する、分散型インフラサービス
鈴木商会	環境	ごみ処理時の発火・爆発の恐れのある危険物のAI混入検知技術
LAND INSIGHT	農業・畜産	衛星データ活用をした農地や放牧の管理効率化技術
エノウィン	農業・交通・除雪	揮すだけ・簡単にリアルタイム作業進捗がわかる位置測位システム
ネクストフィールド	建設	現場生産性向上に資する一元管理可能な建設プラットフォーム
キシブル	防災・観光	VRを活用した遠隔でのリアリティの高い医療や観光モデルの創造
未来シェア	交通	公共交通、観光、送迎、物流をAI乗合配車でリアルタイム最適化

UPDATE179 第二部 13:30~16:00

社名(登壇順)	分野	事業概要
Zip Infrastructure	交通	低コスト・短納期で設置可能な自走式ロープウェイ「Zippar」
ゼロスベック	エネルギー・人手不足	灯油等の配送業務の最適化サービス「GoNOW」を提供
イーマキーナ	畜獣対策	畜獣・害鳥対策製品をはじめとした、IoT機器の企画・製造・販売
よびもり	防災・海難救助	SOS発信端末を活用した海難事故発生時の救助迅速化
ストラーダ	広域医療	オンライン診療を活用した広域医療の実現
BRJ	交通	小規模でも黒字化できる次世代型小型モビリティプログラムを展開
Flyers	ドローン・地域活性化	飛行可能エリア可視化とPR、ドローンをきっかけとした関係人口創出
エアロセンス	サステナビリティ・防災	測量・点検・配送など最先端ドローンを活用したソリューションを提供
Yanekara	再生エネルギー	低コスト・短納期で設置可能な垂直型太陽光発電システム
Archeda	衛星・林業DX	衛星データを用いた森林管理とカーボンクレジットの創出支援
フェイガー	環境	農業由来カーボンクレジットの生成から販売までをサポート
uyet	VTuber	VTuber市場に特化した事業の支援・創造を行う企業

参加申込方法

北海道ミライづくりフォーラム2024 & 第三回ドローンサミットへ事前申込

マイページ上部の「セミナー」タブから「北海道179自治体向け地域課題解決型ピッチイベント [UPDATE179]」を選択し、[参加申込み]を実施

※オンラインから参加ご希望の方もこちらから参加申込をお願いします。後日、オンライン参加URLをご案内いたします。